

宝くじは、みんなの暮らしに役立っています。



こどもの国 ふれあい学び館

くさばな むし とり
草花や虫、鳥など
しぜん ようす
自然の様子も
まな
学べるよ!

はちう
鉢植えの
はな
お花が
きれいだよ!



フラワープランター

いちりんしゃ の
一輪車に乗って
みんなであそ
ぶ遊ぼうよ!



消防団防災学習・災害活動車両

みんなの
まち あんぜん
街の安全を
まも
守っているよ!



一輪車

宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、災害に強い街づくりまで、みんなの暮らしに役立っています。



一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人
日本宝くじ協会
<https://jla-takarakuji.or.jp/>

クラシックって楽しいな!

(都道府県民歌にまつわるエトセトラ)

日本には47の都道府県があるよね!
その多くの場所に
「都道府県民歌」という
歌があるの。
みんなは、自分の住んでる
場所の歌を知ってる? 歌える?
実は、彩葉もついこの前まで
知らなかったの。
でも、このパンフレットを読んで
興味を持って、聴いてみたの。
だから、今はもう歌えるよ! ほらね♪
地元って最高じゃん!!!



いろは
彩葉ちゃん
それはわしの
セリフじゃぞ!
人の仕事を取るん
じゃない…!!



 公益社団法人国際音楽交流協会

〒602-0894 京都市上京区上御霊仲町 457-10
TEL: 075-414-1311 URL: <http://www.imea.or.jp>

このパンフレットは、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



都道府県民歌って？

都 道府県民歌とは、県歌、県民歌、県民の歌等と呼ばれ、各都道府県内で歌われる歌の総称である。地区によっては都道府県民歌と併せて「愛唱歌」と呼ばれる歌が存在することもある。

曲の歌詞は様々であるが、概ね、地元の自然、名所、名物を紹介しつつ、地元住民が明るく豊かな人生を歩むことや地元の発展を願う内容となっている。

演奏の機会としては、都道府県が主催する行事や国民体育大会等が主で、ほかに都道府県庁の始業時間や就業時間を知らせる庁内放送、電話の保留音に使われるような例もある。

21世紀に入ってからは、地元スポーツチームの応援に活用されるケースも増えてきた。

ちなみに、山形県民の歌「最上川」、長野県歌「信濃の国」、「秋田県民歌」は三大県民歌とされる。

都道府県民歌に触れることは、ふるさとへの敬愛の念を思い起こす良い機会であると考え、残念ながら一部の地域を除いて、都道府県民歌の地域住民への認知度はあまり高いとは言えないようである。

本パンフレットを読んで、少しでも都道府県民歌に興味を持つ方が、一度でも聴いてみよう、歌ってみようと思われる方が増えれば幸いである。そして、この音楽への興味が、クラシック音楽をはじめとする様々な分野へ広まっていくことを願う。

北海道
♪光あふれて
♪むかしのむかし
♪北海ばやし

青森県
♪青森県賛歌
♪青い森のメッセージ

秋田県
♪秋田県民歌
♪県民の歌

岩手県
♪岩手県民の歌

山形県
♪最上川

宮城県
♪宮城県民歌
♪輝く郷土

福島県
♪福島県民の歌

群馬県
♪群馬県の歌

栃木県
♪県民の歌

茨城県
♪茨城県民の歌

千葉県
♪千葉県民歌

埼玉県
♪埼玉県歌

東京都
♪東京都歌

神奈川県
♪光あらたに

山梨県
♪山梨県の歌

静岡県
♪静岡県歌

愛知県
♪われらが愛知

三重県
♪三重県民歌

滋賀県
♪滋賀県民の歌

奈良県
♪奈良県民の歌

和歌山県
♪和歌山県民歌

徳島県
♪徳島県民の歌

高知県
♪高知県民の歌

宮崎県
♪宮崎県民歌

鹿児島県
♪鹿児島県民の歌

沖縄県
♪沖縄県民の歌

京都府
♪京都府の歌

大阪府
♪大阪府民の歌

兵庫県
♪兵庫県民の歌

岡山県
♪岡山県の歌

広島県
♪広島県民の歌

山口県
♪山口県民の歌

福岡県
♪福岡県民の歌

佐賀県
♪佐賀県民の歌

長崎県
♪南の風

熊本県
♪熊本県民の歌

鹿児島県
♪火の国旅情

富山県
♪富山県民の歌

石川県
♪石川県民の歌

岐阜県
♪岐阜県民の歌

福井県
♪福井県民歌

新潟県
♪新潟県民歌

長野県
♪信濃の国

群馬県
♪群馬県の歌

栃木県
♪県民の歌

茨城県
♪茨城県民の歌

千葉県
♪千葉県民歌

埼玉県
♪埼玉県歌

東京都
♪東京都歌

神奈川県
♪光あらたに

山梨県
♪山梨県の歌

静岡県
♪静岡県歌

愛知県
♪われらが愛知

三重県
♪三重県民歌

滋賀県
♪滋賀県民の歌

奈良県
♪奈良県民の歌

和歌山県
♪和歌山県民歌

徳島県
♪徳島県民の歌

高知県
♪高知県民の歌

宮崎県
♪宮崎県民歌

鹿児島県
♪鹿児島県民の歌

沖縄県
♪沖縄県民の歌

京都府
♪京都府の歌

大阪府
♪大阪府民の歌

兵庫県
♪兵庫県民の歌

岡山県
♪岡山県の歌

広島県
♪広島県民の歌

山口県
♪山口県民の歌

福岡県
♪福岡県民の歌

佐賀県
♪佐賀県民の歌

長崎県
♪南の風

熊本県
♪熊本県民の歌

鹿児島県
♪火の国旅情

富山県
♪富山県民の歌

石川県
♪石川県民の歌

岐阜県
♪岐阜県民の歌

福井県
♪福井県民歌

新潟県
♪新潟県民歌

長野県
♪信濃の国

群馬県
♪群馬県の歌

栃木県
♪県民の歌

茨城県
♪茨城県民の歌

千葉県
♪千葉県民歌

埼玉県
♪埼玉県歌

東京都
♪東京都歌

神奈川県
♪光あらたに

山梨県
♪山梨県の歌

静岡県
♪静岡県歌

愛知県
♪われらが愛知

三重県
♪三重県民歌

滋賀県
♪滋賀県民の歌

奈良県
♪奈良県民の歌

和歌山県
♪和歌山県民歌

徳島県
♪徳島県民の歌

高知県
♪高知県民の歌

宮崎県
♪宮崎県民歌

鹿児島県
♪鹿児島県民の歌

沖縄県
♪沖縄県民の歌

京都府
♪京都府の歌

大阪府
♪大阪府民の歌

兵庫県
♪兵庫県民の歌

岡山県
♪岡山県の歌

広島県
♪広島県民の歌

山口県
♪山口県民の歌

福岡県
♪福岡県民の歌

佐賀県
♪佐賀県民の歌

長崎県
♪南の風

熊本県
♪熊本県民の歌

鹿児島県
♪火の国旅情

本当にほとんどの都道府県に歌があるのじゃな!!
でも特産品が美味しそう
でも歌より食べ物に目がいってしまうの~

博士ったら……
たしかに食べ物に
目がいっちゃう
けど……

※紙面の都合上、全ての情報が網羅されているわけではありませんことをご了承下さい。

都道府県民歌の紹介

※紙面の都合上、全ての情報が網羅されているわけではありませんことをご了承下さい。

北海道 [1967年]
北海道民のうた
「光あふれて」

作詞：太田武彦／作曲：中村八大

ご当地ワード **原野、きたくに、森、みずうみ**
秘めたるつたえ、牧場、雪

北海道民のうたは3曲同時に制定された。他に、「むかしのむかし」「北海ばやし」がある。作者の中村八大は「上を向いて歩こう」の作曲でも有名。

宮城県 [1938年]
「宮城県民歌」

作詞：高松茂夫／作曲：東京音楽学校

ご当地ワード **蔵王山、松島、青葉城**

宮城県の初代県民歌である。1946年にはもう一つの県民歌である「輝く郷土」が制定された。現在、2曲が宮城県の県民歌として親しまれている。

福島県 [1967年]
「福島県県民の歌」

作詞：吉田武／作曲：星和男

ご当地ワード **しゃくなげ、けやき、きびたき**

1番の「しゃくなげ」、2番の「けやき」、3番の「きびたき」は、それぞれ県の花、木、鳥に選定されている。2011年の東日本大震災後は、復興祈願イベント等で演奏されることが多くなり、県外においても認知度がアップしつつある。

群馬県 [1968年]
「群馬県の歌」

作詞：高草木昭允／作曲：服部良一

ご当地ワード **赤城、利根川、鶴**

明治100年記念事業の一環として制定された3代目の県民歌。3番に出てくる鶴であるが、群馬県の形が羽を広げた鶴に似ているという由来がある。

埼玉県 [1965年]
「埼玉県歌」

作詞：岸上のぶを／補作：神保光太郎／作曲：明本京静

ご当地ワード **秩父、むさし野、大利根**
荒川、まがたま

国体の開催に合わせて制定された。埼玉県庁舎では毎日の始業時間前に庁内で流される。4番には県旗にもある「まがたま」が登場する（埼玉県旗には16個の「まがたま」が描かれている）。

青森県 [2001年]
青森県民の歌
「青い森のメッセージ」

作詞：山内美空／補作：伊藤アキラ／作曲：鈴木キサブロー

ご当地ワード **青い森**

1971年に「青森県賛歌」が制定され、現在も廃止にはなっていないが使用される機会は多くない。作曲者の鈴木キサブローは沢田研二の「酒場でDABADA」や中森明菜の「Desire」等の作曲も手掛けた。

秋田県 [1930年]
「秋田県民歌」

作詞：倉田政嗣／作曲：成田為三

ご当地ワード **鳥海山、男鹿半島、十和田**
田沢、鉱脈

教育勅語発布40周年を記念して制定された。三大県民歌の一つと言われる。県民の認知度は高く、県庁の電話保留音にも使用される。秋田県出身の作曲家、成田為三は「浜辺の歌」の作曲でも知られている。彼は秋田県民歌を9日間で完成させた。

茨城県 [2001年]
「茨城県民の歌」

作詞：川上宏昭／補作：平井康三郎／作曲：町田旭

ご当地ワード **筑波、梅、鹿島灘、原子の火**

県ホームページによれば「郷土の自然や、輝く歴史と伝統を讃え、躍進する茨城の理想の姿を一編の詩に託した」と、される。YouTubeでは初音ミクの歌唱バージョンも公開されており、幅広い年代に支持されていることがうかがえる。

TOPICS! **三大県民歌 ～秋田県、山形県、長野県～**

「秋田県民歌」（秋田県）、「最上川」（山形県）、「信濃の国」（長野県）は三大県民歌とされる。その理由を調査したが、残念ながら明確な根拠は見つからなかった。そこで、各県へ問合わせたところ、「そう言われていることは知っているが、何故かは良くわからない」という感じで、やはり理由は分からなかった。尚、それでもこれら三曲には特徴がある、「秋田県民歌」は1930年に制定された最も古い県民歌であり、「最上川」は

岩手県 [1967年]
「岩手県民の歌」

作詞：田原耕二／補作：高野辰之／作曲：中田喜直

ご当地ワード **みちのく**

県庁舎竣工を記念し制定された。補作の高野辰之は、かの有名な「故郷」の作詞者でもある。

山形県 [1982年]
山形県民の歌「最上川」

御製：昭和天皇／作曲：島崎赤太郎

ご当地ワード **最上川**

三大県民歌の一つと言われている。昭和天皇が、東宮時代の大正14年に山形県に行啓された際にご覧になった「最上川」の様子を、その翌15年の「歌会始」においてお詠みになられたもの。

栃木県 [1962年]
「県民の歌」

作詞：岡きよし／作曲：川島博

ご当地ワード **とちの葉、男体、日の光**
鬼怒川

宇都宮市をホームタウンとする栃木SCの主催試合において、試合開始前にこの「県民の歌」を歌うことが慣例となっている。ほかにもバスケットボールの宇都宮ブレックスや野球の栃木ゴールデンブレーブスの主催試合の際にも演奏されている。

昭和天皇御製であり、「信濃の国」は長野県民の8割が歌えると言われるほど認知度が高い。ちなみに、長野県歌として制定されたのは1968年であるが、歌は1900年に完成しており、制定以前から永きにわたって歌い継がれている。誰が決めたわけでもなく、おそらく通説だと考えられるが、認知度の高さ、歌われる機会の多さ、愛着の深さ等から、これらが三大県民歌と言われる理由が分かった気がする。

東京都 [1947年]
「東京都歌」

作詞：原田重久／補作：深尾須磨子／作曲：加須屋博

ご当地ワード **政治の都、黒潮**

昭和18年に東京府と東京市が合併し東京都が発足した。戦時中であったため、都歌の制定をする余裕がなく、終戦後まもなく制定された。戦後60年の節目に、都議会において新しい都歌を作ることが話題に挙がったが、実現に至っていないようである。

神奈川県 [1950年]
神奈川県民歌「光あらたに」

作詞：村瀬輝光／補作：勝承夫／作曲：飯田信夫

ご当地ワード **湘南**

1931年に制定された「神奈川県県歌」に続く2代目の県民歌。1945年の神奈川県章制定を機に「県民が心から愛唱できる県民歌」の制定が発案された。

石川県 [1959年]
「石川県民の歌」

作詞：梅木宗一／作曲：窪田新一

ご当地ワード **白山、加賀平野、能登半島**
稲田、日本海

1948年に制定された同名曲に続く2代目県民歌である。公募当時、作詞者の梅木宗一は金沢地方裁判所の職員、作曲者の窪田新一は山代温泉（加賀市）にあるキャバレーのバンドマンだったようである。

私にとってのふるさと

皆さんこんにちは、日本大好きスターシャです！ 私たちには「ふるさと」があります。そしてそこにはたくさんの思い出があります。お父さんやお母さんとの思い出、友人との思い出、たくさん笑って、たくさん泣きました。楽しい思い出ばかりじゃないけれど、全部大切な思い出です。普段はあまり意識してなかったのですが、大人になって色々な国に演奏旅行に行くようになってからは、時々「ふるさと」のことを思い出すようになりました。そして今の私があるのは「ふるさと」のお陰と思い、尊敬し感謝しています。2015年に、私の夢であった訪日が実現した後は、日本が私の2番目の「ふるさと」になりました。日本の各地を訪れて本当にたくさんの思い出を頂きました。どれも素晴らしい思い出ばかりです。

ところで、私はコンサートのアンコールで、感謝の気持ちを込めて日本の曲を歌います。勿論、「故郷」です。最近はコロナでダメですが、普段は、いつも聴衆と一緒に大合唱になります。そして時々、都道府県民の歌を歌うことがあります。「故郷」は日本全国の皆さんの「ふるさと」の歌で、都道府県民歌はそれぞれの場所の「ふるさと

静岡県 [1968年]
「静岡県歌」

作詞：羽切喜三／作曲：中田喜直

ご当地ワード **富士、あふるる湯の香**

「県民すべての心を結びぎすな」として制定された。1番の冒頭にある「あけゆく朝」という愛称で呼ばれることもある。作曲者は「ちいさい秋みつけた」や「めだかの学校」、「夏の思い出」などを作曲した中田喜直である。

新潟県 [1948年]
「新潟県民歌」

作詞：高下玉衡／作曲：明本京静

ご当地ワード **西北、五穀の宝庫、越後、日本海**
弥彦、妙高、佐渡、越佐

県内の名所が数多く歌われている。また、1番では民主主義、2番では自由主義、4番では日本国憲法が掲げる理想の実現を目指す意思が歌われている。

福井県 [2014年]
「新福井県民歌」

作詞：三好達治／作曲：小松長生

ご当地ワード **長江、越前若狭、垂り穂、機杼**

長江（九頭竜川）、垂り穂（福井県はコンヒカリ誕生の地）、機杼（福井県は繊維王国と言われるぐらい繊維産業が盛ん）等、県の特徴が歌詞に盛り込まれている。この歌は、1954年に制定された旧版の福井県民歌の改訂版である。

STasha (スターシャ)
オペラ歌手(ソプラノ)
元グネーション劇場オペラスタジオソリスト



の歌だと感じています。ステージから見ていると、場所によって、都道府県民歌の認知度に差があると感じますが、もし私が歌うのを聴かれたら、それをきっかけにして、たくさん歌って下さい。そして自分の「ふるさと」をたくさん愛して下さい。

私は、YouTubeで「日本大好きスターシャ」として、日本の歌をたくさん歌っています。そこでは、日本の童謡や演歌やポップスを歌っています。私はクラシックの歌手ですが、とにかく音楽を好きになってもらい、そこからクラシックにも興味を持って頂ければ嬉しく思います。ちなみに、数が多くて大変ですが、都道府県民歌も歌い始めました。いつか全部の歌を歌おうと思っているので、このパンフレットと一緒に、私のYouTubeチャンネルもお楽しみください。それでは、「チャンネル登録」と「イイネ」をお願いします！

愛知県 [1950年]
「われらが愛知」

作詞：若葉清成／補作：西條八十／作曲：古閑裕而

ご当地ワード **木曾の朝雲、黒潮、電場**
機場、中京

2番の電場や機場で、産業や製造業が盛んな愛知県の特色が歌われている。作曲者の古閑裕而は、「イヨマンテの夜」（伊藤久男）、「六甲おろし」（阪神タイガースの球団歌）、「青雲たかく」（中日ドラゴンズの旧球団歌）等の作曲でも有名。また、補作詞の西條八十は、日本著作権協会の3代目会長を務めた。

富山県 [1958年]
「富山県民の歌」

作詞：辻本俊夫／作曲：牧野良二

ご当地ワード **立山連峰、有機の海**

富山国体に合わせて歌詞の公募が、続いて作曲の公募が実施された。尚、富山県には「ふるさとの空」という愛唱歌もあり、こちらは久石譲作曲である。何れの歌も県のホームページで紹介されており、広く県民に愛されている。

山梨県 [1950年]
「山梨県の歌」

作詞：矢沢千里／作曲：岡本敏明

ご当地ワード **最上富士、湖、葡萄**

県政60周年記念事業の一環として制定。1977年発表の県民愛唱歌「緑のふるさと」と共に、県民に愛されている。作曲者は、東京YMCA合唱団の初代指揮者としても活躍した岡本敏明である。

長野県 [1968年]
「信濃の国」

作詞：浅井列／作曲：北村季晴

ご当地ワード **信濃、松本、伊佐、佐久、善光寺、海こそなけれ、御岳、栗原、駒ヶ岳、浅間、犀川、千曲川、本管川、天竜川、木曾の谷、善野の湖、番町い、園原、塚原の床、久米路橋、筑摩の海、横路山、地持蓮養仲、仁科の五郎信盛、香台太宰先生、象山佐久間先生、碓氷山、穿つトンネル**

三大県民歌の一つ。作詞1899年、作曲1900年であり、県歌として制定される以前から唱歌として県民に親しまれてきた。長野県民であれば誰でも歌えると言われるほど圧倒的な認知度を誇る。歌詞には、これでもかと言うほど長野県の魅力が散りばめられている。

岐阜県 [1955年]
「岐阜県民の歌」

作詞：永縄半助／作曲：服部正

ご当地ワード **木の国、山の国、もみじ**
鶴かがり、水の国

作曲者の服部正はNHKのラジオ体操第1（2代目）を作曲したことで知られる。1番の「木の国 山の国」というフレーズが馴染み深く、多くの県民に愛されている。

三重県 [1964年]
「三重県民歌」

作詞：辻橋清子／作曲：飯田信夫

ご当地ワード **吉田山、五十鈴の流れ、真珠、志摩**
伊賀、熊野、伊勢の海原、鈴鹿の山

新庁舎落成を記念して制定された。作曲者の飯田信夫は「忠臣蔵」や「戦争と平和」等、多くの東宝映画の映画音楽作曲家として活躍した。三重県の豊かな自然や観光名所等が歌われている。県ホームページでは、地元で活動する合唱団「うたおに」による歌唱が視聴できる。

滋賀県 [1954年]
「滋賀県民の歌」
 作詞: 夢沢彌 / 補作: 西條八十 / 作曲: 古関裕而

ご当地ワード **比良の峯、琵琶の水
機織る町、稲刈る村**

大津市京町の滋賀会館竣工を記念して制定された。滋賀県のご当地ソングとして有名な「琵琶湖周航の歌」と共に県民に愛されている。尚、歌碑が県庁舎前に設置されている。

和歌山県 [1948年]
「和歌山県民歌」
 作詞: 西川好次郎 / 作曲: 山田耕柝

ご当地ワード **浜木綿、黒潮、常春の国**

戦後間もない時期の、ある篤志家による「県の再建につながり、後世に残るものを何か考えてほしい」という提案が制作の契機となった。作曲者の山田耕柝は、言わずと知れた「赤とんぼ」の作曲者でもある。尚、県民歌は和歌山県庁の電話の保留音としても使われている。

岡山県 [1957年]
「岡山県の歌」
 作詞: 石井梅香 / 作曲: 水野康孝

ご当地ワード **瀬戸の海、豊かに果実実る丘**

新庁舎落成を記念して制定された。1982年に発表された県民愛唱歌「みんなのところに」と共に広く歌われている。2番の歌詞には、果物王国に相応しく、「豊かに果実実る丘」とある。

徳島県 [1971年]
「徳島県民の歌」
 作詞: 富士正晴 / 作曲: 三木稔

ご当地ワード **すだちの香り、鳴門の潮
剣の山、四国三郎、阿波の文化**

徳島県民の歌は、県民が気軽に愛唱できるものとして制定された。1番に出てくる四国三郎は吉野川のこと。坂東太郎(利根川)、筑紫二郎(筑後川)に対してこう呼ばれる。作詞者の富士正晴、作曲者の三木稔は共に徳島県出身者である。

愛媛県 [1973年]
「愛媛の歌」
 作詞: 岩本義孝 / 作曲: 中田喜直

ご当地ワード **伊予**

県政発足100年を記念して制定された。作曲者の中田喜直は、「ちいさい秋みつけた」等の作曲も手掛けたが、「早春賦」で知られる中田章の三男である。尚、作詞者は県民と県出身者を対象に公募が実施され、当時中学校教諭であった岩本義孝の作品が選ばれた。

京都府 [1984年]
「京都府の歌」
 作詞: 田中秀果 / 作曲: 團伊玖磨

ご当地ワード **文化の薫り、山よ山よ**

京都府は長らく府歌を制定していなかったため、全国の都道府県民歌の中では、新しいものに分類される。作曲者の團伊玖磨は「建・TAKERU」等の和製オペラの作曲家としても有名。尚、同オペラは1997年に新国立劇場のこけら落とし公演として初演された。

鳥取県 [1968年]
「わきあがる力」
 作詞: 鳥取県県民歌制定委員会 / 作曲: 團伊玖磨

ご当地ワード **大山、湯けむり、梨の実、稲穂
日本海、しおざい、砂丘**

明治100年記念事業として県章と同時に制定された。鳥取県の自然や名産が歌われている。作詞者は鳥取県県民歌制定委員会の名義となっている。

TOPICS!
アメリカの州歌

アメリカには州歌 (Statesong) がある。日本の都道府県民歌と似たような位置づけの歌と言える。50州のうち48州に州歌があり、中には複数の歌を制定している州もある。また、日本と同様に州歌と併せて、いわゆる愛唱歌のある州も多く、ニューハンプシャー州、テネシー州はそれぞれ約10の歌が制定されている。曲は「アメリカ音楽の父」と称されるステイブン・フォスターが手掛けたものや、民謡、カントリ・ミュージック、ラップ等、多岐に亘る。

フロリダ州の「オールド・フォークス・アトホーム」は前述のフォスターの作曲によるが、「哀れの少女」「故郷の人々(スワニー河)」として日本でも広く知られる。コネチカット州の「ヤンキードウドル」は日本では「アルプス一万尺」として有名なアメリカ民謡である。

テネシー州の「テネシー・ハイセンテニアル・ラップ」はその名の通りラップ・ミュージックである。



高知県 [1952年]
「高知県民の歌」
 作詞: 西村貞夫 / 作曲: 田正形

ご当地ワード **建依別、九十九洋、黒潮、土佐**

四国国体の開催に合わせて制定された。高知県の自然や、1番に出てくる「建依別」(たけよりわけ=土佐の国の神)のように、神話や伝説に満ちて由緒深い高知県の歴史を称える内容となっている。

奈良県 [1968年]
「奈良県民の歌」
 作詞: 萩原四朗 / 作曲: 福島正二

ご当地ワード **吉野の桜、畝傍山、大和の国
近畿の要、文化の府**

同時期に制定された「奈良県民音頭」と共に多くの県民に親しまれている。作詞者の萩原四朗は、テイチクレコードの取締役文芸部長を務めた人物であるが、作曲家上原賢六とコンビを組んで「錆びたナイフ」、「赤いハンカチ」、「夕陽の丘」等、大ヒット曲を数多く手掛けた。

島根県 [1951年]
「薄紫の山脈」
 御製: 米山治 / 作曲: 古関裕而

ご当地ワード **磯風清き六十里、おきの島山
み国譲り、九十万の県民の**

サンフランシスコ講和条約の締結を記念して制定された。当時の県人口である90万人が一丸となって「新しい島根」を築いていこうという気概が込められており、その精神は今も受け継がれている。NHKの連続テレビ小説「エール」は、作曲者の古関裕而が主人公のモデルである。

山口県 [1962年]
「山口県民の歌」
 作詞: 佐藤春夫 / 作曲: 信時潔

ご当地ワード **錦帯橋、秋吉台、維新の偉業
周芳赤戸、大内毛利、二つの海**

県政施行90周年記念事業の一環として制定された。県の名所・自然・偉人をはじめ、山口県の魅力が歌われている。

香川県 [1954年]
「香川県民歌」
 作詞: 小川楠一 / 作曲: 田口寛

ご当地ワード **讃岐の峰、大瀬戸、塩焼く浜**

県民として誇りを自覚し、勤労と郷土愛を奮起させることを願い、県が歌詞を公募した。2番最初の「塩焼く浜」は、昭和初期まで瀬戸内海に面した海岸沿いに塩田が広がっていたことに由来する。

福岡県 [1970年]
福岡県民の歌「希望の光」
 作詞: 中畑海次 / 作曲: 中村八大

ご当地ワード **玄海、英彦山、筑紫野、空港**

1970年に制定されたが、高度成長期らしく、福岡県の自然に加えて、北九州工業地帯や空港を称える内容となっている。「上を向いて歩こう」で知られる中村八大の作曲によるが、同氏は久留米市の旧制中学の卒業生である。

佐賀県 [1974年]
「佐賀県民の歌」
 作詞: 明石省八 / 作曲: 團伊玖磨

ご当地ワード **玄海有明、多良のみね
くすのき、筑紫、稲穂波**

「郷土佐賀県が豊かな自然の中に調和しつつ、新しく躍進していく姿と、県民が輝かしい未来への希望と明日をひらく意欲をこめて制作された」とのこと。2番の「くすのき」は佐賀の県木に指定されている。「風はみらい色」[栄の国から]等の愛唱歌と共に親しまれている。

宮崎県 [制定:1964年]
「宮崎県民歌」
 作詞: 酒井祐春 / 作曲: 飯田信夫

ご当地ワード **黒潮、はまゆう**

1883年(明治16年)に宮崎県が再置されてから80年になることから、置県80周年を記念して制作された。3番に出てくる「はまゆう」は宮崎県の「県の花」に指定されている。東宝映画の映画音楽作曲家として活躍した飯田信夫の作曲。

長崎県 [1961年]
長崎県民歌「南の風」
 作詞: 県民の歌作詞委員会 / 作曲: 山口健作

ご当地ワード **とつくの文化、雲仙、殉教の道
壱岐、対馬、五島、造船の業**

県内の自然に加えて、古くより外国との交流が盛んであった長崎県らしく多様な文化が歌われている。県のホームページではミュージックビデオも公開されている。

鹿児島県 [1948年]
「鹿児島県民の歌」
 作詞: 坂口利雄 / 作曲: 山田耕柝

ご当地ワード **桜島、南国、黒潮**

県のホームページによると、「戦災からの復興を目指す県民の情熱を平易で明るい歌にすることで、県民の士気を高め、希望を与え、民主的で平和な鹿児島をつくる」という目的で制定された」とのこと。「赤とんぼ」で有名な山田耕柝の作曲。

熊本県 [1959年]
「熊本県民の歌」
 作詞: 坂井秀雄 / 作曲: 出田憲二

ご当地ワード **大阿蘇、銀杏城、火の国
白川、球磨川、天草、黒潮**

熊本国体の際に作られた。1984年に「県民の歌」に定められた「火の国旅情」と共に親しまれている。作曲者の出田憲二は熊本県御船町出身の音楽家で、熊本音楽短期大学(現平成音楽大学)の創設者である。1番に出てくる銀杏城は熊本城の別名である。

沖縄県 [1972年]
「沖縄県民の歌」
 御製: 宮里静湖 / 作曲: 城間繁

ご当地ワード **なごむ島々、試練の歴史乗り
越えて、黒潮、でいごの花**

沖縄県の本土復帰当日に制定された。3番に登場する「でいごの花」は沖縄県の県花に指定されている。県民愛唱歌(うちなあかなさうた)である「ていんさぐぬ花」と共に県民に親しまれている。



スターシャちゃんは、ユーチューブで都道府県民歌の歌をたくさん歌ってるんだよね～？

そうよ！これからもっとたくさん歌おう思ってるの！小さい子は、パパやママと一緒に観てね！

本誌を読んだ感想や意見があれば是非教えて欲しいもんじゃ……ワ、ワシへの連絡は、**hakase@imea.or.jp**へメールを送ってくればいいんじゃないぞ……

童謡・演歌・ポップスに加えて都道府県民歌の動画をYouTubeで公開中!



個人賛助会員のごあんない

気軽に一流のクラシック音楽に触れる機会を、日本の隅々にまで提供することを目的に、当協会では1992年から2021年までの30年間で、北海道から沖縄県に至るまで47全都道府県135市区町村において384回のコンサートを開催して参りましたが(2020年は社会情勢を鑑み全公演中止)。全てのコンサートは、日本政府関係各省庁や開催各地の地方公共団体をはじめ、各種団体、民間企業のご支援等により、入場無料(一部低廉な入場料による公演を含む)として開催することができました。コンサートに参加された国民の皆様からは、「とても良いコンサートであった」と高い評価を頂いております。

また、当協会は平成26年10月に公益社団法人の認定を受け、より活発な活動を目指しているところです。

公益法人制度改革を経て、より一層の法人自立が求められている中、この素晴らしい事業の永遠の存続と更なる発展を期して、一人でも多くの国民の皆様方に、個人賛助会員へのご入会を通じて、当協会の活動をご支援頂きたくお願い申し上げます。

【個人賛助会員に関する詳しいお問合せはコチラ】 ⇨ <http://www.imea.or.jp/web/support>

クラシックって楽しいな!
 (都道府県民歌にまつわるエトセトラ)

制作: 公益社団法人国際音楽交流協会
 本願寺
 井村屋グループ株式会社
 ダイキン工業株式会社
 大阪ガス株式会社
 影近設備工業株式会社
 株式会社大原の里

助成: 一般財団法人日本宝くじ協会
 挿絵: 指宿 清
 発行: 2022年 8月